

授業科目名 ( 英文名 )	科学技術英語 1 (English for Science and Technology)	科目区分 対象学生	
単位数	1.00	開講年次・ 学期	2年次・前期
担当教員	山本 恵里子	所属	非常勤講師
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>この授業は理系英語の基本的な運用能力を磨き、英語でのプレゼンテーションのスキルを磨くことを目的としています。</p> <p>The objectives of this class are: to improve basic English skills to express scientific knowledge, to acquire various methods of creating presentation materials and to learn fundamental presentation skills in English.</p>		
講義内容・授業計画	<p>授業や学会等で英語によるプレゼンテーションを行い、質疑応答をこなす実践力を身につけるため、教科書と実例のビデオをもとに練習を行い、最終的には自分のテーマで発表をしてもらう。毎回様々な形での発表、ペアワーク、グループワークを行うので、授業ではパソコンとWebカメラ、マイクと安定したWiFi接続の環境が必要である。発表の際は、顔を出して発言してもらう。Webexを利用する予定（Zoomに変更する可能性があるがその際は連絡する）。</p> <p>授業進行は以下の通り。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Introduction Text: Ch. 1 「英語プレゼンテーションまでの予備知識」(pp. 1-8); 「付録Ⅳ」(pp. 115-126)</li> <li>2. Self-Introduction and overview Text: Ch. 1 (pp. 1-8); 「付録Ⅰ」( pp. 90-107)</li> <li>3. Basics of an academic presentation, Q&amp;A and TED Talks Text: Chs. 2-3 (pp. 9-63); 「付録Ⅳ」(pp. 115-6, 120-1)</li> <li>4. Case Study #1: Analysis and Discussion Text: Chs. 2-3 (pp. 9-63); 「付録Ⅳ」(pp. 115-121)</li> <li>5. Case Study #1: Summary and Presentation Practice Case Study #2: Analysis and Discussion</li> <li>6. Case Study #2: Summary and Presentation Practice Case Study #3: Analysis and Discussion</li> <li>7. Case Study #3: Summary and Presentation Practice Case Study #4: Analysis and Discussion</li> <li>8. Case Study #4: Summary and Presentation Practice Case Study #5: Analysis and Discussion Project: Choosing a topic and writing an Outline and Contents</li> <li>9. Case Study #5: Summary and Presentation Practice Project: Explaining motivation and experiments</li> <li>10. Project: Explaining Results/Conclusion Writing a script How to improve your pronunciation</li> <li>11. Presentations Part I</li> <li>12. Presentations Part II</li> <li>13. Revised Presentations Part I</li> <li>14. Revised Presentations Part II</li> <li>15. Summary</li> </ol>		
テキスト	<p>廣岡慶彦 『理科系のための入門英語プレゼンテーション』（朝倉書店、2003年）ISBN 978-4-254-10184-3</p>		
参考文献	<p>授業中に指示する。</p>		
成績評価の基準・方法	<p>英語でのプレゼンテーションに必要な英語スキルを修得したものに単位を与える。講義目的・到達目標に記載する能力の到達度に応じてSからCまでの成績を与える。小テスト・授業中の発表50%、定期試験・最終発表50%を基準として、受講態度（積</p>		

	極的な質問、応答)を含めて総合的に評価する。
履修上の注意・履修要件	当授業は、原則全ての授業を遠隔で実施する予定です。オンライン授業の受講を視聴できる通信環境(PC・タブレット等の端末やWi-Fi環境)、およびプレゼンテーションに必要なソフトウェア(Word, Power Point)が必要です。 工学部、理学部の学生を対象とした授業です。定員30名。定員を超えた場合は抽選とします。
実践的教育	該当しない
備考	WebexまたはZOOMで行う(第1回目はまずWebexで行うが、パソコンにZOOMもダウンロードし申込んでおくとよい。) 授業中への積極的な参加が重要である。初めの段階での英語力よりも、発表を通してコミュニケーションしたいという意欲と、自分の持っている力をいかに伸ばしたかを評価する。特にオンラインの授業では、自ら学ぼうとする姿勢と意欲が必須である。